

出雲農業未来の懸け橋事業及び新出雲農業チャレンジ事業見直しの
 検討状況について

出雲農業未来の懸け橋事業と新出雲農業チャレンジ事業について、第3期対策（R6～8年度の3カ年）に向け、現行メニュー等の見直し作業に取り組んでいるところです。その状況について報告します。

1 出雲農業未来の懸け橋事業

(1) 事業実施状況

第2期出雲農業未来の懸け橋事業(R3～5年度)は、担い手の育成、農畜産物の生産振興、農業者及び生産組織の経営安定を目的として事業を展開した。補助対象事業者は、事業申請時に立てた計画の達成に向け生産活動等に取り組み、一定の成果が見られた。

第2期懸け橋事業の主な成果

- 農産振興事業
 農業機械設備導入・更新支援により、土地利用型作物の出荷量・販売金額の増加、耕地面積拡大が図られた。
- 特産振興事業
 機械・施設の導入支援やパイプハウス長寿命化・機能性向上の支援により高収益作物等の出荷量・販売金額の増加、秀品率の上昇が図られた。
- 畜産振興事業
 優良血統牛や肥育牛の導入及び高能力の初妊牛への更新支援により、計画的な子牛の出荷、“出雲和牛”の安定生産、生乳の品質維持と安定出荷が図られた。
- 特認事業
 肥料価格高騰、鳥獣による食害被害等、突発的に生じた農業課題に対し速やかに対応。農家経営の維持・安定に寄与した。

第2期懸け橋事業の補助金交付額の推移

区分	令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)	
	決算内訳		決算内訳		決算内訳(見込)	
	件数	補助金額	件数	補助金額	件数	補助金額
1農産振興事業	71	29,328,110	75	49,137,380	81	48,585,420
2特産振興事業	53	68,566,800	49	47,714,400	53	47,800,500
3畜産振興事業	12	47,722,620	10	50,855,702	9	43,890,000
4特認事業	7	2,345,110	8	2,150,608	12	3,642,658
1～4 小計	143	147,962,640	142	149,858,090	155	143,918,578

(2) 見直しの方針

①担い手の不足・高齢化に加え、農産物価格の低迷、生産資材・燃料価格の高騰など、農業を取り巻く状況は厳しさを増している。このことから、第2期対策での成果を踏まえ、既存メニューは引き続き取り組むこととする。

②担い手の確保は喫緊の課題であり、地域計画において描く5～10年後の出雲市農業を見据え、「担い手の不足・従事者の高齢化」対策に重点的に取り組む。

【理由】

ア) 2020農林業センサスによると、出雲市の農業は担い手の減少・高齢化が顕著であり、現時点で約7割の農業経営体が後継者を確保できていない。

イ) 出雲地域の地区担い手育成支援協議会に対する調査において、約6割が「担い手の不足・高齢化」を課題に挙げている。また、斐川地域の集落営農次世代意見交換会においても、同様な意見が多数挙げられていた。

ウ) 「令和3年度 集落営農法人経営状況等実態調査結果」から、集落営農組織の約6割が人材不足と回答している。更には約9割の集落営農組織の組織運営に課題があると回答し、課題があると回答したほぼ全ての組織が「高齢化に伴う人材の確保」を挙げている。

③米から高収益作物への転換促進、飼料高騰を背景とする自給飼料の生産拡大、有機農業の拡大など、現状を踏まえて対策を強化する。

(3) 見直しのポイント

上記を踏まえ、現在の農業課題解決に向け、次のような支援メニューの新設・拡充を検討している。

■新設を検討している支援メニュー(案)

- ・農繁期の労働力確保への支援
- ・集落営農組織の後継者確保・育成活動を支援
- ・家族経営農家を継承する後継者への支援
- ・県推奨の収益性が高い水田園芸6品目栽培のための機械導入を強化
- ・市内産自給飼料の生産拡大・安定供給を促すためのWCS（稲発酵粗飼料）用稲の作付けを支援
- ・有機JAS認証取得者の機械導入等を支援

■拡充を検討している支援メニュー(案)

- ・「地域に根差した担い手等支援事業」の補助対象者に地域計画に位置付けられた(又は見込みの)農業者を追加

2 新出雲農業チャレンジ事業

(1) 事業実施状況

第2期新出雲農業チャレンジ事業(R3~5年度)は、「モデル的・先駆的取組の支援」「中山間地域農業の支援」「担い手の支援」を柱として事業を実施した。

実証されたスマート農業機器の普及、中山間地域の法面除草の省力化、新規就農者の初期投資負担の軽減による経営自立化など、一定の成果をあげている。

第2期チャレンジ事業の補助金交付額の推移

事業の柱	令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)	
	決算内訳		決算内訳		決算内訳(見込)	
	件数	補助金額	件数	補助金額	件数	補助金額
モデル的・先駆的取組の支援	8	2,881,000	17	8,274,621	8	5,973,200
中山間地域農業の支援	7	3,238,734	6	3,718,109	5	2,796,437
担い手の支援	31	5,895,520	42	8,454,189	35	8,285,717
合計	46	12,015,254	65	20,446,919	48	17,055,354

(2) 見直しの方針

第3期対策が一定の成果を挙げていることから、引き続き「モデル的・先駆的取組の支援」「中山間地域農業の支援」「担い手の支援」の3つを柱に据えて取り組むこととする。

支援メニューについては、スマート農業の一層の推進、環境にやさしい農業の普及、中山間地域における草刈対策の強化、中山間地域農業を守る取組の更なる推進、農繁期の労働力確保対策を検討していく。

(3) 見直しのポイント

上記を踏まえ、次のような支援メニューの新設・拡充を検討している。

①スマート農業の推進

R5年度までに取り組んだ実証試験の結果を踏まえ、補助対象機械・設備を拡充

②環境にやさしい農業の推進

- ・環境にやさしい農業の普及に関する調査・研究活動への支援
- ・環境にやさしい農業に資する機械・設備の導入を支援

③中山間地域農業の振興

- ・粗放的農地利用などの農村環境の保全・活性化に係る調査・研究活動への支援
- ・中山間地域における除草作業の省力化に資する補助対象技術の拡充

④労働力確保の推進

- ・農繁期の労働力確保に向けた調査・研究活動への支援
- ・農福連携の取り組みを支援